

Q.このままでは“危ない”

A.交通安全対策・環境美化対策を行う



坪井武成議員

A 神明公園周辺の路上駐車・環境対策については、これまで公園へのアクセス確保と来園者と地域の交通安全対策のために、整備を行ってきた。また、ゴミのポイ捨て対策は、週一回、ゴミ拾い等を実施している。

Q 神明公園の周辺道路へ駐車車両があふれ出て、人身事故が発生、“危ない”。平日でも休憩車両が駐車し、地域住民は困っている。対策を。

また駐車車両等からのゴミの投げ捨ては日常茶飯事。防ぐ対策は。また、路上駐車対策として駐車場を他に設けることは、公園の利用状況からみて、必要はないと考える。

Q.企業誘致で活力を A.航空機関連産業を中心とした先端産業を誘致



危険を誘う路上駐車

Q 宇宙航空研究開発機構（JAXA）、国産初の小型ジェット旅客機（MRJ）の生産拠点の誘致が決定した。このチャンスに関連企業の誘致を考えたらどうか。

町の財政力の向上、市民の働く場所の確保、雇用の促進につなげ町に活力を。積極的に取り組む考えはないか。

A 企業誘致については、三菱重工業小牧南工場で国産ジェット旅客機MRJの拠点形成と、宇宙航空研究開発機構（JAXA）飛行研究施設の立地が決定し、本町の発展が大いに期待できる。当面、旧空港地域の活用策と航空機関連産業を中心とした先端産業の誘致が課題であり、その取り組みを進めていく考えである。

Q.集中改革プランの見直しを

A.総括し、第2次集中改革プランにつなげる



栗田昌子議員

Q 平成18年度に導入した集中改革プラン、その時から3年半ほど経過した。

その間、本町の人口は増加。大型商業施設のオープンもあり、産業構造にも変化があったと思う。それゆえ、集中改革プランの8項目について、見直すべき時が来たのではないか。例えば、定員管理の適正化では、職員数127人（長期欠勤3人と出向2人を含む）は、本町の現状に見合っていないか。

るか。住民サービスに影響があるのではないか。改革プランは次のとおり。

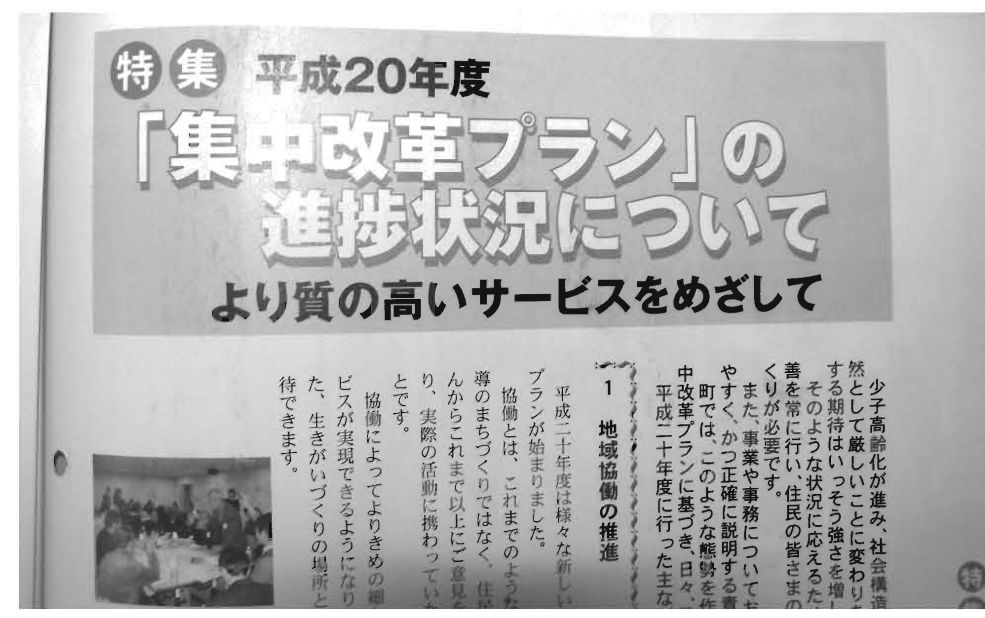
- ①地域協働の推進、②事務・事業の再編・整理、廃止・統合、③組織機構の見直し、④人材育成の推進、⑤民間委託等の推進、⑥定員管理の適正化、⑦給与の適正化、⑧経費削減等の財政効果

A 集中改革プランで掲げている8項目の取り組み事項については、毎年実施計画に沿

って、進捗状況の点検を行っている。現行の職員数127人は、定員管理の目標数であり、1年早く達成したものである。職員数の減に対しては、業務に支障がでない職員配置を行い、住民サービスに影響がないよう行っている。その他の主な進捗状況としては、地域協働の推進でワークショップ事業の実施。民間委託等の推進で、学習等供用施設と豊山スカイプールの指定

管理を行った。経費削減等の財政効果については、包括外部監査の導入から有識者会議等の導入に変更した。

今後は総括を行い、マニフェストに掲げている第2次集中改革プランの策定に繋げて行く。



見直してほしい「集中改革プラン」